

薬学部

School of
Pharmaceutical Sciences

■ 薬科学科 ■ 薬学科 入学定員 計120人



薬学部6年
中林千華さん

学生 × 学部長 特別対談 デアイトミライ

どのような研究や学びができるのか
教えてください。

石川:国際的に活躍できる薬のプロフェッショナルを
育むカリキュラムが本学部の特長です。低学年で
は、薬の性質や作用などの理解に必要な基盤的な
知識や考え方を学び、高学年になるにつれ、薬の
実臨床での使用に即した応用力が身についていき
ます。特に3年生後期からは、全員がいずれかの研
究室に所属し、教員の指導の下で卒業研究を行
います。関連した論文を読み、最新の研究機器を駆
使した実験に取り組むことで、講義では得られない

思考力や発想力を培うことができます。中林さんは、
なぜ薬学部を選んだのですか。

中林:看護師の母の影響
もあり、幼い頃から医療
に関わる仕事に興味が
ありました。薬学部を志望
したのは、医薬品を通して
人の健康に携わりたいと
考えたからです。講義や実習で薬の重要性を学ぶ
と同時に、不適切な使用が命に関わってしまう怖さ
も感じています。

石川:確かに薬学は人の命に深く関わっています。
そのため、高度な専門的知識や技能の習得は言う
に及ばず、倫理観や責任感、適切な判断力を身につ
けることもとても大切です。薬はどんどん増えており、
それに伴い覚えるべき知識も膨大になっています。



しかし重要なのは、その知識を如何に利用できるか
です。様々なシチュエーションに柔軟に対応し、論
理的思考を駆使して、最適な解決策を導く高度な
薬学的思考力を身につけてください。

現在行っている研究や学びについて
具体的に教えてください。

中林:生理学に興味を持ったため、生物系の研究室
を希望しました。現在は骨格筋の幹細胞に着目し、
筋再生機構の解明を目指しています。実験では苦勞
もありますが、結果を学会等で発表できた際にはと
ても達成感がありました。さらに研究を進め、筋疾患に
対する新たな治療法の確立や、再生医療の発展に
貢献したいです。

石川:頼もしいですね。4年制薬科学科では、大学院
へ進学して将来、創薬や生命薬学の研究者や専門

創薬と医療薬学のスペシャリストを育成する

生命科学を基礎として薬の構造から機能までを理解し、
 高度な薬学的思考力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成します。
 医薬品の研究開発、衛生行政、薬剤師など、多様な分野での活躍が期待できます。



薬学部長
石川 智久

職に就きたいと考えている人、6年制薬学科では、専門性の高い指導的立場の薬剤師や医療薬学の研究者になりたいと考えている人を想定したカリキュラムを組んでいます。単に薬の知識を習得するだけでなく、その知識を咀嚼し、応用、発展させることができる、高度な薬学人として社会貢献したいという強い信念と情熱を持った人を求めています。



将来のために努力していること について教えてください。

中林: 研究や勉学だけでなく、研究室のメンバーとマラソン大会やソフトボール大会に参加するなど、周囲とのコミュニケーションも大切にしています。練習や

準備を進める中で会話が増え、研究においても気軽に意見交換できるようになりました。何気ない会話を通じて周囲との信頼関係を結び、患者さんの気持ちに寄り添った医療を提供できる薬剤師を目指しています。

石川: 仲間からも患者さんからも信頼される薬剤師になれそうですね。中林さんのように薬剤師を目指す方も多いですが、実は薬学部イコール薬剤師養成ではありません。薬剤師免許を取得しても、製薬会社や行政など、薬に関わる他の職業に就く卒業生もかなりいます。薬を理解するには、物理、化学、生物といった幅広い学問の習得が必要であり、こうした過程で自分の適性に合った職業を見つけることも可能です。

薬学部への入学を目指す受験生に、
 アドバイスやメッセージをお願いします。

中林: 基礎から臨床まで様々な領域について幅広く学べるので、講義や実習を通じて自分の興味を再発見し、将来の目標に向けて学びを深めることができます。限られた時間の中でやるべきこと・やりたいことを明確にすることで、忙しい中でも充実した日々を過ごせます。まずは全力で受験勉強に取り組んでください!

石川: 薬剤師になりたい人はもちろん歓迎します。そうでなくても、薬は面白そう、と思える人であれば、是非、薬学部を目指してください。





01
学科紹介
Class

高度な薬学的思考力と倫理観を備えた
創造性豊かな人材の育成を目指して



4年制

薬科学科

創薬科学者への道を開く

本学科は、医薬品の創製、研究開発、生命科学や環境科学に関する教育を併せ持つ総合的な学科です。薬学共通の基礎・専門・教養教育の後に最先端の科学を取り入れたアドバンスで充実したカリキュラムが用意されています。研究に力を入れ、創薬科学・衛生薬学の新たな基盤構築に貢献する人材の育成を目指しています。

▼ 卒業後の主な活躍フィールド

大学院進学	製薬企業や大学等で幅広く活躍できる高度な専門的研究能力を育成
製薬企業	新薬の研究開発のほか、MR(医薬品情報担当者)としても活躍
その他企業	化学や食品系の企業における製品の開発
大学研究室	大学での研究や教育

6年制

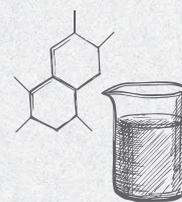
薬学科

高度医療を担う薬剤師・医療薬学研究者を目指す

医療技術の高度化とともに医薬品の安全かつ適正な使用を推進するため、薬剤師には調剤業務に加え、服薬指導、服薬歴管理、処方設計の支援、リスクマネジメントへの参画、医薬品情報の提供、ならびに治験の推進といった業務が強く求められています。本学科では薬学の基礎・専門教育とともに医療薬学教育及び実務実習を行い、高度医療に貢献する人材の育成を目指しています。

▼ 卒業後の主な活躍フィールド

病院	調剤、服薬指導、服薬歴管理、処方設計の支援などの業務
保険薬局	保険調剤や服薬指導のほか、一般用医薬品、保健機能食品などの相談業務
公務員	薬剤師としてのみならず、保健衛生や薬務行政に従事
製薬企業	新薬の研究開発のほか、MR(医薬品情報担当者)としても活躍



02
ピックアップ
授業
Pick up

多様な分野での活躍ができる 能力育成を考慮した授業展開

製剤学

製剤学は、医薬品原料を患者さんが使用できる製剤(剤形)とする過程を扱う学問です。どんなに優れた医薬品原料であっても、製剤にならなければ薬物治療は達成されません。そのため、製剤学はユーザーに近い薬学特有の研究・学問領域です。製剤の仕組みを理解することは、医薬品の有効性と安全性さらには使用性を高める上で意義深いものになります。



実務事前実習

薬学科の学生は臨床現場での実習に出る前に、薬学部棟にある模擬薬局で薬剤師の業務の基本となる知識、技能と薬剤師としての振る舞いを習得します。患者・来局者との医療面談や調剤、無菌調製などを練習するほか、フィジカルアセスメントなど新しく薬剤師に必要とされる技能も実習します。またグループ討議をしながら具体的に薬物治療計画を作成することで実践的な知識を学びます。



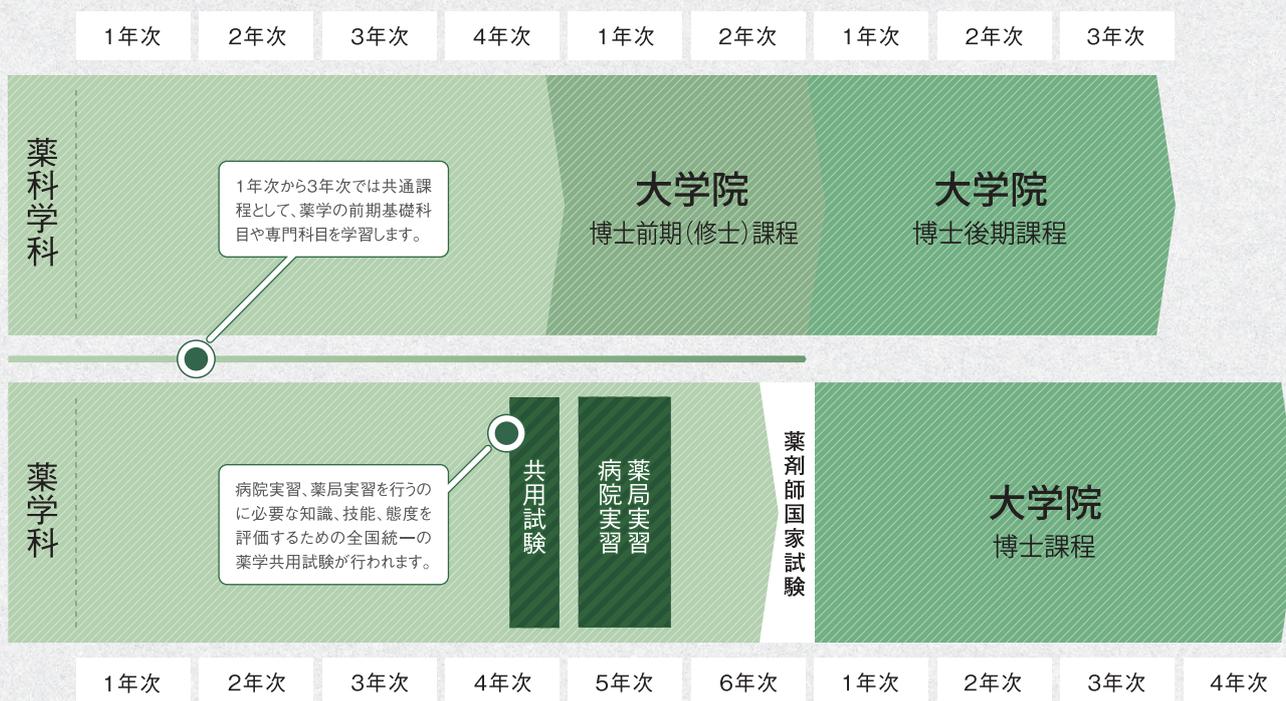
卒業研究

専攻学科によらず学部学生は、3年次後半より、研究室に配属されます。生物学、生理学、物理学、化学などの基礎学問から、薬理学、分析化学、製剤、毒性学、実践薬学など「薬」に関わるサイエンスまで、最先端のオリジナルな研究を行います。本講義では将来的に基礎生命科学、創薬、そして、より実践的な医療薬学領域の研究者として活躍するための素養を養います。



03
概略チャート
Chart

薬学の基礎や専門科目を 総合的に学べるシステム



研究室紹介



01 ピックアップ研究室

薬学科
吉成 浩一 研究室



研究分野 **衛生分子毒性学分野**

医薬品や化粧品、農薬、サプリメントなどの化学物質は、現代社会において人類が健康で豊かな生活を営むために欠かせない存在となっています。一方で、医薬品の副作用、化学物質による環境汚染など、化学物質の有害作用(毒性)による健康被害や社会問題が生じており、社会的な関心も高くなっています。当研究室では、化学物質が生体内でどのような仕組みで有害作用を示すのか、また生体はどのような毒性物質に対してどのように応答し、どのようにそれらから体を守るのかなどを、分子レベルで明らかにすることを目標に研究しています。これらの研究は、より安全な化学物質の開発に貢献するだけでなく、例えば肝障害や肝がんなどの予防・治療法の実現にも有用な情報を提供できると考えています。また、現在、医薬品をはじめとする化学物質の安全性は、主に動物実験の結果に基づいて評価されていますが、動物愛護や開発コストの観点から、動物を使用せずに安全性を評価する方法(動物実験代替法)の開発が世界的な課題となっています。当研究室においても、タンパク質や培養細胞、あるいはコンピュータを用いた安全性評価手法の開発を目指して研究を進めています。

02 ピックアップ研究室

薬学科
森本 達也 研究室



研究分野 **分子病態学分野**

我が国では高齢者の増加に伴い、心不全に罹患される方が大幅に増加すること=「心不全パンデミック」が予想されています。心不全は高血圧性心疾患や心筋梗塞などの種々の心疾患の共通最終像であり、「心臓の機能が低下して十分な量の血液を全身に送り出せない状態」のことで、非常に予後が悪いことが知られています。しかし、心不全に対する十分な治療法の実現には至っておらず、医療経済学的にも大きな問題となっています。当研究室が掲げる研究のゴールは心不全の新たな治療・予防薬を開発することです。これまでの心不全の薬物治療は、心不全において活性化される細胞外の神経・体液性因子とその受容体を標的としてきました。当研究室では、従来の治療戦略とは異なり、1つ1つの情報伝達経路をブロックするのではなく、細胞内の核における共通経路を標的にする方がより根本的な心不全治療になり得るのではないかと考えています。この新たな治療戦略の実現に向けて、基礎研究によって心不全発症に重要な分子機構を解明し、新たに見出したその分子機構を抑える薬を探索・開発し、臨床への応用を目指しています。



OB・OG紹介



ファイザー・ファーマ株式会社
品質オペレーションズ部 品質管理グループ 特定製剤試験課 勤務

天野 滉基さん

2022年3月卒業

「病気に悩む患者さんのために、高品質な医薬品を安定してお届けしたい。」薬局・病院実務実習中に感じた思いを胸に、私は製薬会社に入社しました。現在はQCの試験者として、ここ名古屋工場で生産された自社製品の他、世界中の自社工場から届く医薬品の品質試験を行っています。在学中は薬剤師免許の取得を目指しながら、生化学研究室でウイルス研究に取り組み、インフルエンザ治療薬の作用機構について研究していました。研究生として心掛けていた「データや考察を聞き手に分かりやすく伝える力」は就職活動時に役立つとともに、現在の業務にも活用できています。静岡県立大学薬学部は薬剤師を目指す方にとってはもちろん、薬学を通して幅広く社会に貢献したいと考えている方にとっても最適な学びの場です。講義・研究活動・実務実習、そして楽しく充実した学生生活から得られる経験と知識は、人生の宝になるでしょう。

取得資格のピックアップ

▶ 取得できる資格一覧はP63参照

・薬剤師国家試験受験資格

薬剤師国家試験受験資格は、6年制薬学科の卒業生のみにも与えられます。4年制薬科学科卒業生は、薬剤師国家試験を受験することはできません。

その他の取得可能な資格

・臨床検査技師国家試験受験資格※

(薬科学科卒業生) ※臨地実習を含む指定科目の履修が必要

進路状況

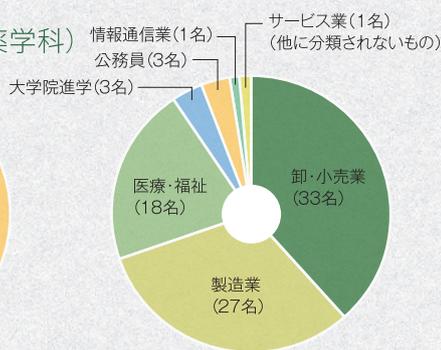
2023年度卒業生

学部卒業生

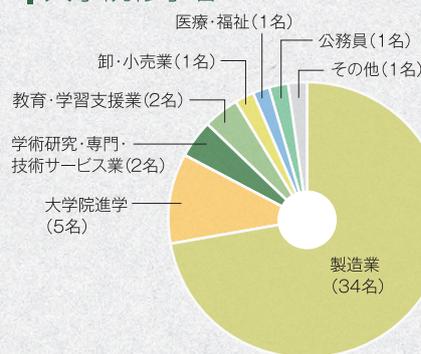
(薬科学科)



(薬学科)



大学院修了者



主な就職先(過去3年)

武田薬品工業
アステラス製薬
小野薬品工業
大塚製薬
塩野義製薬
イーザイ
第一三共
協和キリン

グラクソスミスクライン
中外製薬
旭化成
日本たばこ産業
ファイザー
ライオン
小林製薬
静岡県立病院機構

国立病院機構
静岡済生会総合病院
聖隷福祉事業団
浜松医科大学医学部附属病院
名古屋大学医学部附属病院
ウエルシア薬局
杏林堂薬局
日本調剤

アインホールディングス
新日本科学PPD
医薬品医療機器総合機構
静岡県(薬剤師)
大阪府(薬剤師)
静岡市(薬剤師)

食品栄養科学部

School of
Food and Nutritional

■ 食品生命科学科 ■ 栄養生命科学科 ■ 環境生命科学科 入学定員 計70人



食品栄養科学部4年
島田にしきさん

学生 × 学部長 特別対談 デアイとミライ

どのような研究や学びができるのか
教えてください。

伊吹:「食」は生命の基盤であり、ヒトの健康に大きく関わります。また、「食」と健康を守るためには豊かな環境が必要です。食品栄養科学部は、ヒトの健康維持に「食」が果たす役割と、持続可能で豊かな「食」を創造する方策を、食品科学、栄養科学、環境科学の3つの学問分野から探求、そして研究しています。島田さんの志望理由は何ですか。

島田:テレビで食品の商品開発について知る機会があり、食べることにも興味があったため、食品

関係の学部を志望しました。全国の大学の中でも、少数で先生方からの指導が手厚いという部分に魅力を感じ、静岡県立大学の本学部を選びました。

伊吹:なるほど、それで食品生命科学科なのですね。「食」を中心とした広く深い学びが得られることが本学部の大きな特徴です。3学科の特徴としては、食品生命科学科では食品の生産・開発・評価などに関わる専門家を、栄養生命科学科では管理栄養士や食とヒトの健康に関わる専門家を、環境生命科学科では食と健康を支える環境づくりに貢献する専門家を育成しています。



現在行っている研究や学びについて
具体的に教えてください。

伊吹:多くの皆さんがイメージする「食」に比べ、本学部では「食」を中心としたもっと広いことを学びます。例えば、ヒトの健康を守る為の食習慣・生活習慣、生物の力を利用した食資源の開発、安全な食や健康を守るための豊かな環境の維持など、食と健康、そしてそれを支える環境に関わる広い分野です。この広い分野を理解しつつ、3年生後半から配属される研究室では、専門性を極め、一つのことを追求していきます。興味を持った講義はありますか。

島田:有機化学です。反応の丸暗記ではなく、電子の移動や反応が起きている部分、結合場所や条件などを理解し、起きていることを原理から頭に入れることで、応用問題も解くことができます。化合物の性

食と健康のフロントランナーを目指して

食べ物という物質面の学問として発展してきた食品学と、生体内に入った食べ物の代謝や生体機能との関係を扱う栄養学と、食物の生産と健康への影響に深く関わる環境科学を互いに融合させ、「食と環境と健康」に関する諸問題を科学的に教育・研究することを目指します。



食品栄養科学部長
伊吹裕子

質を考慮し、どの条件であれば反応が進行するのか、どこがどう作用し反応が起きているのかを考えることに面白みを感じています。

伊吹:確かに面白いですね。皆さんには「食」に関する様々なことに広く興味を持ちながらも、何か一つをとことん追求していく精神を培って欲しいと思っています。

将来のために努力していることについて教えてください。

島田:様々なことに興味を持つようにしています。あまり関心がなかったことも、少し興味を持つと違った景色が見えてきて、感じたことのない良さに気づいたりします。私は海外に興味がありませんでしたが、海外留学の案内を積極的に見たり、経験者の友達に話を聞くうちに、徐々に興味を持ち始めています。

伊吹:興味を持つ、視野を広げることは大切です。

多くの友達と関わりを持ち、違う考え方をベースに議論するのも将来の自分を見出すための重要な学びです。また、本学では

多くの学びが提供されており、全学共通科目などでは本学部の授業だけでなく、他学部の内容も学ぶことができます。それらを広く吸収し、本学部の専門内容を勉強することで、自分の将来像を見出して欲しいと思います。

食品栄養科学部への入学を目指す受験生に、アドバイスやメッセージをお願いします。

島田:本学部では食を多方面から学べるため、日々



新たな発見があり、学ぶことがより楽しくなりました。私は先生にたくさん質問しますが、どんなに小さなことでも丁寧に対応してくださいます。大変な時期もありますが、ともに乗り越える仲間がたくさんいます。一緒に楽しく食について学びましょう!

伊吹:本学部を志望する皆さんは少なからず「食」に興味を持っているはず。でも実は、皆さんの想像より「食」の世界は広く、深いです。また、科学としての「食」は心弾むほど面白いものです。そんな面白さを極めたいという学生さんに入学者に入学して欲しいと思っています。





01
学科紹介
Class

「食と環境と健康の科学」を担う
人材の育成を目指して

食品生命科学科

最新の生命科学を基礎に
食品の先端的技術開発を目指す

食をめぐるさまざまな問題に対処できる食品技術者が必要とされています。そのために、化学、物理学、生物学、英語などの基礎科目と食品に関連した生命科学、工学を中心とした専門科目を幅広く配置し、食品成分に関する知識をもち、ヒトの栄養や生命科学を理解した、食品分野を先端的に担う食品技術者を育成します。

▼ 卒業後の主な進路

- 大学院進学** 食品の生理機能解明や食品に関連する先端的技術開発研究
- 企業 (食品製造)** 食品開発や品質管理・生産技術・食品製造(食品衛生管理者)など
- 企業 (その他)** 化学・化粧品等の産業分野における商品開発・製造・品質管理など
- 公的機関** 食品・衛生に関する行政指導・食品安全性検査(食品衛生監視員)など

栄養生命科学科

食を通して
人間の健康と長寿を支える

健康長寿のために、生活習慣病の予防・改善や食育の推進は重要な課題です。本学科では、栄養素の体内利用と機能について基礎から応用、さらに実践レベルまで幅広く質の高い教育を行っており、生命科学を理解した実践能力の高い日本のリーダーとして、また世界で活躍できる管理栄養士を育成します。

▼ 卒業後の主な進路

- 大学院進学** 栄養代謝に関する基礎研究や疫学研究など
- 公務員** 管理栄養士として行政、栄養教諭など
- 病院等 医療機関** 病院・介護保険施設等における栄養管理や給食経営管理の実施
- 企業 (食品製造)** 食品製造・香料・化学等の産業分野における開発・製造・品質管理など

環境生命科学科

食と人の健康に関わる環境分野で
活躍できる人材の養成を目指す

健康の維持・増進を図るためには、安全・安心な食品や水の確保が重要であり、生命の生存基盤となる環境や生態系を保つことが不可欠です。環境が食を育み、食がヒトを育み、そしてヒトが環境を育む、そのサイクルを学ぶことにより、環境科学と生命科学を基盤として食とヒトの健康に関わる環境分野で活躍できる人材を育成します。

▼ 卒業後の主な進路

- 大学院進学** 環境保全や環境リスク・安全性評価に関する基礎研究や技術開発など
- 企業 (環境コンサルタント業・試験研究機関)** 環境分析、環境リスク・安全性評価、環境アセスメントなど
- 企業 (食品、医薬品等製造業)** 環境負荷低減技術の開発、安全性評価、環境分析・食品機能分析など
- 公務員** 環境保全に関する行政指導、環境施策の策定など

02
ピックアップ
授業
Pick up

多様な分野での活躍ができる 能力育成を考慮した授業展開



公衆栄養学実習

公衆栄養学は、公衆(地域住民みんな)の栄養・健康状態を公衆(地域住民みんな)で改善していくことを目指す学問です。この実習では、地域住民の栄養・健康課題を解決するために、どのような環境や心理状態が原因となっているか、どのような地域や組織と連携が必要かなどを議論し、公衆栄養のマネジメントに必要な知識や技術を磨いていきます。



発酵学

味噌や清酒は、微生物がエネルギーを獲得する「一次代謝」の産物です。この一次代謝を利用して、アミノ酸調味料などがつくられています。また、微生物がエネルギーを消費して物質を生産する「二次代謝」を利用して、抗生物質などがつくられています。以上のように、微生物のいとなみ「代謝」が産業上有用な物質の生産に用いられていることを学びます。



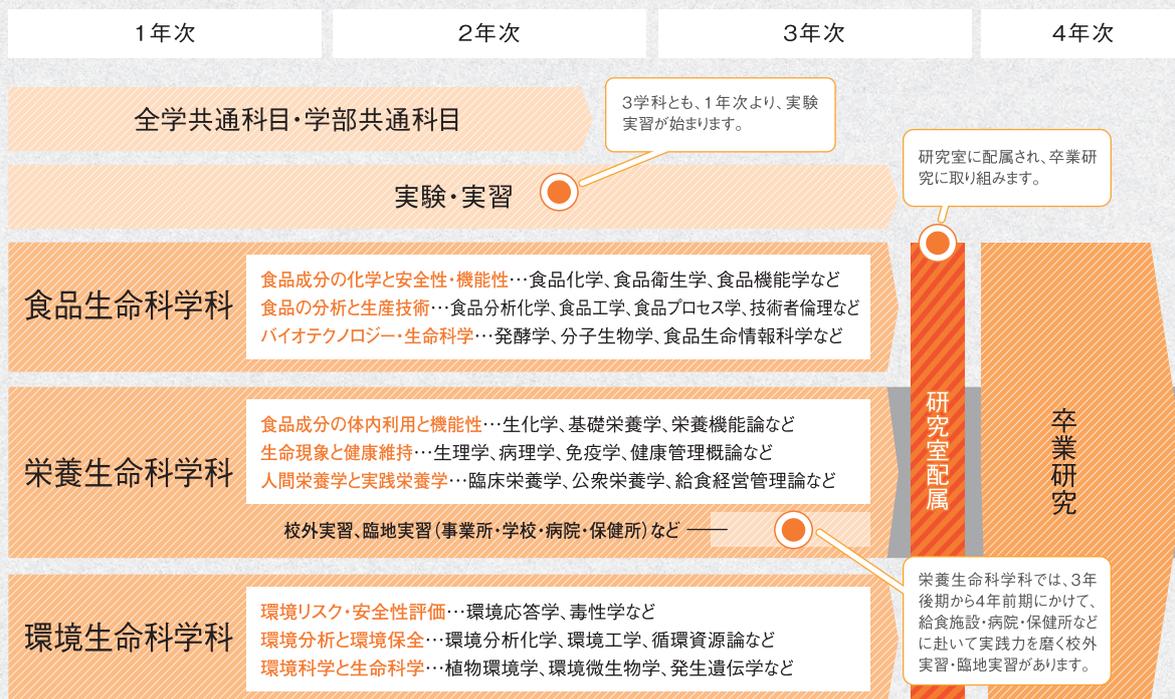
フィールドワーク

県内の環境フィールドに出向き、試料採取、現場観察、データ解析などを実習形式で学びます。今までに、天竜森林生態系における植生・野生動物の分布、樹木の生長に関わる環境因子(土壌特性、気象条件など)、森林土壌と河川水質の関連性などの調査をおこなってきています。また、食品加工業者や産業廃棄物処理施設を訪問し、産業活動により排出される廃棄物の処理方法や有効活用の現状なども学んでいます。



03
概略チャート
Chart

食品生命科学科と栄養生命科学科と 環境生命科学科の概略チャート



研究室紹介



01 ピックアップ研究室

食品生命科学科 中野 祥吾 研究室

研究分野 食品生命情報科学

食品生命情報科学研究室では、生物データを解析して有用な情報を抽出する独自プログラムの開発と、それを応用したバイオものづくりを目指した研究に取り組んでいます。一例として生物データベースに眠る、現在の産業を一変させる潜在能力を秘めたタンパク質を探索・デザインするためのプログラムを開発しています。デザインしたタンパク質を応用した、バイオものづくりにも挑戦しています。これまでに取得した複数のタンパク質を組み合わせ、D-アミノ酸や核酸医薬品などの有用化合物を合成することに成功しています。食品由来の天然化合物をはじめとした有用物質の大量生産を可能とする基盤となる情報-実験融合技術の開発を進めています。

02 ピックアップ研究室

栄養生命科学科 保坂 利男 研究室

研究分野 臨床栄養学

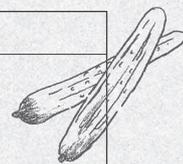
栄養素摂取に関連する病気(たとえば糖尿病や低栄養など)の治療において、管理栄養士が果たす役割は年々大きくなっています。その一方で、テレビや雑誌などで扱われる栄養学的情報には、明確な科学的根拠が存在しないものも多く含まれており、その蓄積が必要です。臨床栄養学研究室では、栄養素摂取に関連する病気の予防や治療の役に立つことを目指して、基礎と臨床の両面から研究を行っています。例えば、食事の食べ方による血糖値の変化や、アミノ酸による糖尿病予防効果などを調べています。臨床現場との研究も積極的に行っており、診療所や急性期病院、健診施設などと連携した研究を行っています。



03 ピックアップ研究室

環境生命科学科 原 清敬 研究室

研究分野 環境工学



微生物は目には見えませんが、我々の身の回りで様々な活躍をしています。食物連鎖の根底を担い、地球の物質循環だけでなく、食品や生分解性プラスチック等の生産を通して、地球とヒトの健康を守ってくれています。地球上には、まだまだ凄い微生物たちが潜んでいます。これらの微生物たちの底知れぬ能力を発見し、育て上げ、改良して持続可能な社会形成の最先端に送り出すことが我々の目標です。当研究室では、環境負荷の少ない微生物によるものづくりを進めるため、食品加工残渣や光エネルギーを利用可能な微生物の研究開発を進めています。また、駿河湾に面した静岡県の地の利を生かし、海洋資源を活用した微生物ものづくりにも挑戦しています。



OB・OG紹介



三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
フレーバー&テイストユニット 勤務

池内 郁佳子さん

2023年3月博士前期課程修了

私は食べることが大好きで、食を通じて多くの人を笑顔にしたいという夢がありました。そのため「食」について専門的に学べる食品栄養科学部に進学しました。食品栄養科学部では「食」に関する基本的な事項はもちろん、食感や香り、機能性など、様々なアプローチから「食」について探求できるため、自分のやりたいことを見つけることができます。また、学生に対して指導教員が多く、分からないことがあっても親身になって答えてくれるため、非常に研究しやすい環境です。その後、私は食品会社の研究職として入社し、何百もの香り成分で構成されている食品の香りの中から、おいしさのキーとなる成分を探求する業務を行っています。現在はお菓子の分析を行っており、普段スーパーやコンビニ等で目にする商品を実際に分析し、どの香り成分がこの商品のキーになっているのか、自分で解明していく点にとってもやりがいを感じています。



取得資格のピックアップ

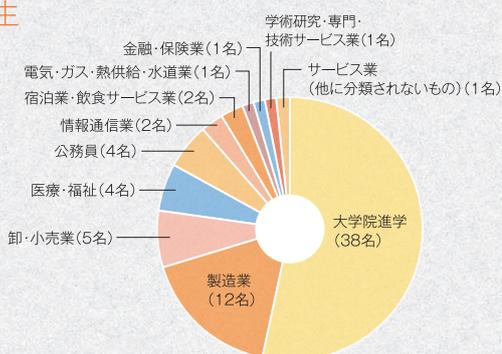
▶ 取得できる資格一覧はP63参照

食品生命科学科は、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けており、プログラム修了者は技術士補(農業部門)登録申請資格を取得できます。栄養生命科学科では、栄養士免許申請資格、管理栄養士国家試験受験資格を取得することができます。また、所定の単位を修得すると栄養教諭一種免許状が取得できます。環境生命科学科では、環境計量士、放射線取扱主任者等の資格に関して、複数の講義で関連する知識を習得することができます。また、食品生命科学科及び環境生命科学科では所定の単位を修得すると、高等学校教諭一種免許状(理科)が取得できます。さらに、全学科において、食品衛生監視員、食品衛生管理者の申請資格を取得することができます。

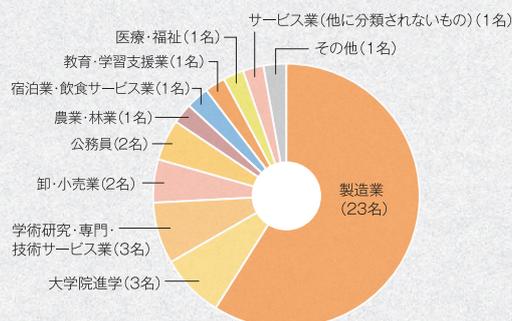
進路状況

2023年度卒業生

学部卒業生



大学院修了者



主な就職先(過去3年)

味の素食品	ホテイフーズコーポレーション	中外製薬工業	岐阜大学医学部附属病院
伊藤園	米久	パナソニック	三重大学医学部附属病院
カルビー	ヤマザキ	GSユアサ	浜松市立浜松医療センター
キュービー	不二家	静岡ガス	藤枝市立総合病院
山崎製パン	マルハチ村松	島津テクノリサーチ	静岡市(事務、栄養士)
雪印メグミルク	ツムラ	東洋紡	静岡県(事務、栄養士)
日本ハム食品	シャンソン化粧品	いであ	
ハウス食品	資生堂	日本気象協会	